



考えて、スタンプカードではなくビンゴカードにしたことがポイントです。飲食店さん側のこの企画への参加費は無料。飲食券もできる限り多くの方に当たるようにしています」

水野靖久さん 「以前からお弁当などのお持ち帰りメニューを扱っていましたが、絆グルメの企画は素直にありがたいと感じました。お店がテイクアウトに対応しているということをお客さまに知ってもらうのは難しいんです。この企画が告知のきっかけになってくれると思い、メニューをさらに充実させました」

水野裕之さん 「いつかは始めようと考えていたテイクアウトですが、通常の営業中では手間がかりです。告知方法も含めて模索していたところでした。絆グルメの企画で、皆さんに知っていただけたのはありがたいですね」

大西さん 「焼鳥は以前からお持ち帰りできましたが、お店のお客さんは8割

市内でテイクアウトが拡大中！
総額25万円分の食事券
が当たる！

絆グルメ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市内の飲食店は苦しい状況が続いています。そんな中、春日井商工会議所青年部が、市内の飲食店を盛り上げ、市民の皆さんを笑顔にしよう！という企画を実施しました。



市内の飲食店を応援しながらプロの味を自宅で楽しむ企画

「春日井商工会議所青年部のメンバーであり、飲食店などを経営する5名の皆さんに、『春日井応援プロジェクトテイクアウト絆グルメ』の概要を取材しました。」

鵜飼さん 「この企画が生まれたきっかけは、4月初めの青年部の会議で出た意見でした。緊急事態宣言発令前でしたが、すでに閉塞感のある社会になりつつあり、青年部としても春日井の皆さんに、『モチベーションを維持して元気を出して欲しい』と考えていました。幸い青年部は、昨年まで『春日井名物グルメ王座決定戦』を実施しており、市内の飲食店さんとは強い繋がりがあります。そこで、時代の流れに沿ったテイクアウトグルメの企画で『春日井のプロの味を自宅でお楽しみでいただければ』と考えました」

「市内の飲食店の現状はいかがですか。」

鵜飼さん 「私は酒類専門販

減。営業時間の短縮もあり、お昼に営業しないと厳しい状況になって、どうしようかと考えていたところでした。絆グルメの企画が、テイクアウト事業に乗り出す契機になりました」

岡本さん 「売上が減り、従業員の皆さんもマイナなことばかりを考えている状況でしたが、この企画を聞いて気持ちが前向きになったようです。『どんなメニューなら買いに来てるかな？』とアイデアを出し合うなど、新たな目標ができました」

家でシェアして
おいしく時短！
テイクアウトグルメの
楽しみ方

「各店舗によるテイクアウトグルメならではの工夫がありますか。」

大西さん 「できる限り、焼き立て作り立てを提供するため、お電話で時間指定をいただいで販売しています」

水野裕之さん 「家族でシェアできるように、メイン1点

売店を営んでいる仕事柄、飲食店さんが疲弊していることを強く感じていました。あるお店では、本来であれば売上増が見込める3月の時点で『6〜7割の売上減』という話も聞きました。愛知県では4月7日に緊急事態宣言が発令され、事業者には休業協力や営業時間短縮の要請がありました。その後も苦しい状況が続いていますが、どのお店も頑張っています」

水野靖久さん 「水徳」では、5月までの営業時間をお昼だけにしてメニューを絞り、ロスが出ないように食材を管理することで乗り切っています」

岡本さん 「私は『黒潮本店』、『丸岡商店』、『木曾駒』、『GREEN TABLE 9640』等15店舗を経営しています。要請期間中は各店のスタッフと議論し、営業すると経費が掛かってマイナスになる店舗は閉め、利益は出ないが経費が払える店舗は時間を短縮して営業するなど、お店ごとに対応を変えてきました」

ではなく2点を小分けにして入れるようにしています」

岡本さん 「あつという間に晩ごはん」というセットを考えたので、お弁当だけのメニューもあります」

水野靖久さん 「お弁当のほかに惣菜だけのメニューがあり、職人が揚げる天ぷらも1本からテイクアウト可能にしています」

好評につき第2弾開催！
7月上旬からスタート！
HPでスタート日をチェック！

「テイクアウトグルメの企画は継続されると聞きましたが、その理由は？」

鵜飼さん 「今回参加された飲食店さんの一部から感謝の言葉をいただいています。緊急事態宣言解除後も、お客さまが元通りに戻るまで時間がかかるだろうという声もあります。その状況の中で、青年部として引き続き実施していくことを決断しました」

岡本さん 「飲食に携わる者として、そして青年部のメンバーとしてどうすれば飲食

大西さん 「経営する『焼鳥ぼんくら』や『ハンバーグ&グリルハングリ』の状況は厳しいものです。すでにお弁当のテイクアウトを始めていたので、一時は『飲食店事業から撤退して、家族経営で弁当事業に専念するか』と考えました。苦渋の選択を迫られたために、『融資を受けて現状を維持し、弁当事業を広げていこう』と方針を固めました。目の前のこととこれからのことが同時進行で、大きな決断となりました」

水野裕之さん 「洋食の『ボンクォーレ』を経営しています。要請期間中は、休業が営業時間短縮かで迷いました。最終的には『常連さん達に向けてできる範囲で営業しよう』と決めて、アルバイトさん1人に来てもらい、仕入れから自分と2人だけで担当し、早い時間にお店を閉めることにしました。また、この期間に『これからはテイクアウトのお客さまが多くなる』と考え、洋食のテイクアウトをスタートしました」

店を通して市民の方々に笑顔になってもらえるかと考え、青年部として継続して動かそうと決意しました」

「『春日井応援プロジェクト絆グルメ』第2弾はテイクアウト+店内飲食も含めるか検討中のこと。」

開催スタート日など詳細に関してはホームページをチェックしてみてください。

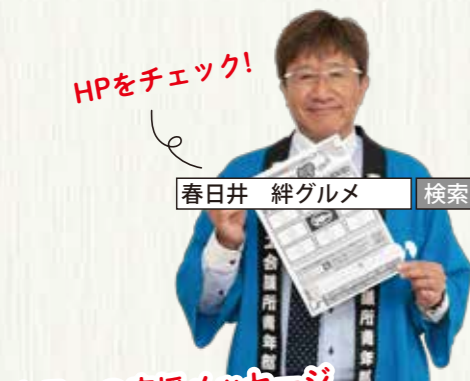
そして春日井市内の参加飲食店舗に足を運び、総額25万円の食事券が当たるイベントに参加しましょう。

春日井商工会議所青年部では、今後も春日井の皆さんを応援する企画を検討していくというので楽しみます。

普段は行かないお店にも足を運んでもらう、ビンゴの仕掛け

「そんな中で生まれたのが『テイクアウト絆グルメ』の企画です。」

鵜飼さん 「概要は、春日井市内の飲食店でテイクアウトに対応している、またはテイクアウトを始めた店舗50店以上にビンゴカードを置き、来店したお客さまにそのカードをお渡しします。1回テイクアウトをすると、その店舗の番号欄にスタンプが押してもらえます。メニューの種類や数量、金額によらず、1回のテイクアウトで1スタンプです。お客さまが1列、もしくは2列のビンゴを達成し、当企画の事務所まで郵送すると、総額25万円分の、市内で使える1万円または3千円の飲食券を抽選でプレゼントするというもの。お客さまにテイクアウトグルメを楽しんでいただながら、市内の飲食店を応援しようという企画です。『普段は行かないお店にも足を運んで欲しい』と



市民への応援メッセージ



『酒のうかい』
鵜飼 健司さん

今こそ地元を愛を！こういった時だからこそ、改めて地元を目を向けてみてください。



『ボンクォーレ』
水野 裕之さん

私たちが脳をふるって作るおいしいお料理で、少しでも多くのご家庭が幸せになりますように……。



『極上素材 四季の味 水徳本店』
『持ち帰り弁当専門 水徳勝川駅前店』
水野 靖久さん

「忙しくて、家庭で手をかけたごはんを作ることができない」。そんな時こそ、栄養バランスのとれたテイクアウトグルメを、ぜひ活用してください！



『黒潮本店』『丸岡商店』『木曾駒』
『GREEN TABLE 9640』他
岡本 博貴さん

ご家庭で料理を作る回数が増えて大変な思いをした人も多いのでは。働く親御さんを、テイクアウトグルメで応援します。



『焼鳥ぼんくら』
『ハンバーグ&グリルハングリ』
大西 忠さん

春日井の飲食店は、みんなで力を合わせています。市民の皆さんも頑張ってください！